

地域医療初期研修プログラム

1. 【一般目標:GIO】

地域医療(とくに内科初期診療)を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、患者が営む日常生活や居住する地域の特性に即した医療について理解し、心理社会的側面への配慮を行い、適切な医療が提供できる。

2. 【行動目標:SB0s】

1 患者やその家族に対して心理的、社会的側面を配慮ができる。
2 学校・家庭・職場環境に配慮し、地域との連携に参画できる。
3 診療情報提供など、他施設への情報伝達を円滑にできる(コミュニケーション)。
4 病院の地域における役割を理解する。
5 メディカルスタッフスタッフと協力してチーム医療を実践できる。
6 内科初期救急診療の基本を身に付ける。
7 内科初期対応における入院の可否を判断できる。
8 デイケアなどの社会復帰や地域支援体制を理解する。

3. 【方略】

	対応するSB0s
1 患者の担当医として、指導医とともに診療にあたる。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
2 患者やその家族に対して、病状の説明を指導医とともに行う。	1, 4, 5, 6, 7
3 高次医療機関への紹介状を記載する。	3, 4, 6, 7, 8
4 内科初期診療に関する基本的知識を教科書にて学習する。	6, 7
5 チームカンファランスに参加する。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
6 入院担当患者の退院時要約を作成する。	3, 6, 7

4. 【評価】

①研修医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法	対応するSB0s
担当した患者の疾患と患者数	自己・指導医	研修修了時	チェックリスト	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
診療態度	自己・指導医・メディカルスタッフ	研修中旬 研修修了時	フィードバックシート	1, 2, 4, 5, 7
関連手技	自己・指導医	随時	チェックリスト 口頭でのフィードバック	5, 6
日常診療での症例提示	自己・指導医・メディカルスタッフ	毎日	診療記録のチェック及び 口頭でのフィードバック	2, 3, 4, 5, 6, 7
退院時要約を用いた症例提示	自己・指導医	随時	退院時要約記載内容のチェック 及び口頭でのフィードバック	3, 6, 7
退院時要約作成	自己・指導医	随時	退院時要約記載内容のチェック	3, 6

②当該科に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの当該科への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

③指導者に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの指導者への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

5. 研修医の事前準備

プライマリ・ケア、初期救急の教科書をおさらいすること

※ 週間スケジュール、研修指導体制については、地域医療研修ガイドブックを参照

地域医療初期研修プログラム(内科)

1. 【一般目標:GIO】

地域医療(とくに内科初期診療)を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、患者が営む日常生活や居住する地域の特性に即した医療について理解し、心理社会的側面への配慮を行い、適切な医療が提供できる。

2. 【行動目標:SB0s】

1 患者やその家族に対して心理的、社会的側面を配慮ができる。
2 学校・家庭・職場環境に配慮し、地域との連携に参画できる。
3 診療情報提供など、他施設への情報伝達を円滑にできる(コミュニケーション)。
4 診療所の地域における役割について理解する。
5 メディカルスタッフスタッフと協力してチーム医療を実践できる。
6 内科外来診療の基本知識を身に付ける。
7 内科外来における初期対応と治療を実践する。

3. 【方略】

	対応するSB0s
1 患者の担当医として、指導医とともに診療にあたる。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
2 患者やその家族に対して、病状の説明を指導医とともに行う。	1, 4, 5, 6, 7
3 高次医療機関への紹介状を記載する。	3, 4, 6, 7
4 内科初期診療に関する基本的知識を教科書にて学習する。	6, 7
5 チームカンファランスに参加する。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7

4. 【評価】

①研修医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法	対応するSB0s
担当した患者の疾患と患者数	自己・指導医	研修修了時	チェックリスト	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7
診療態度	自己・指導医・メディカルスタッフ	研修中旬 研修修了時	フィードバックシート	1, 2, 4, 5, 7
関連手技	自己・指導医	随時	チェックリスト 口頭でのフィードバック	5, 6, 7
日常診療での症例提示	自己・指導医・メディカルスタッフ	毎日	診療記録のチェック及び 口頭でのフィードバック	2, 3, 5, 6, 7

②当該科に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの当該科への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

③指導者に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの指導者への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

5. 研修医の事前準備

プライマリ・ケア、初期救急の教科書をおさらいすること

※ 週間スケジュール、研修指導体制については、地域医療研修ガイドブックを参照

地域医療初期研修プログラム(外科)

1. 【一般目標:GIO】

地域医療（とくに外科初期診療）を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、患者が営む日常生活や居住する地域の特性に即した医療について理解し、心理社会的側面への配慮を行い、適切な医療が提供できる。

2. 【行動目標:SB0s】

1 患者やその家族に対して心理的、社会的側面を配慮ができる。
2 学校・家庭・職場環境に配慮し、地域との連携に参画できる。
3 診療情報提供など、他施設への情報伝達を円滑にできる（コミュニケーション）。
4 診療所の役割について理解し、実践する。
5 メディカルスタッフと協力してチーム医療を実践できる。
6 外科初期診療の基本を身に付ける。
7 外科外来における初期対応と治療の実際を学ぶ。
8 外科外来で行う治療手技を習得する。

3. 【方略】

	対応するSB0s
1 患者の担当医として、指導医とともに診療にあたる。	1, 2, 3, 4, 5 6, 7, 8
2 患者やその家族に対して、病状の説明を指導医とともに行う。	1, 4, 5, 6, 7, 8
3 高次医療機関への紹介状を記載する。	3, 4, 6, 7
4 外科初期診療に関する基本的知識を教科書にて学習する。	6, 7, 8
5 外科診療に関する基本的手技（消毒、縫合、ドレナージなど）を行う。	5, 6, 7, 8

4. 【評価】

①研修医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法	対応するSB0s
担当した患者の疾患と患者数	自己・指導医	研修修了時	チェックリスト	1, 2, 3, 4, 5 6, 7, 8
診療態度	自己・指導医・メディカルスタッフ	研修中旬 研修修了時	フィードバックシート	1, 2, 4, 5, 7
関連手技	自己・指導医	随時	チェックリスト 口頭でのフィードバック	5, 6, 7, 8
日常診療での症例提示	自己・指導医・メディカルスタッフ	毎日	診療記録のチェック及び 口頭でのフィードバック	2, 3, 5, 6, 7

②当該科に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの当該科への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

③指導者に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの指導者への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

5. 研修医の事前準備

プライマリ・ケア、初期救急の教科書をおさらいすること

※ 週間スケジュール、研修指導体制については、地域医療研修ガイドブックを参照

1. 【一般目標:GIO】

精神・保健医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、精神科におけるプライマリケアや地域医療としての役割を理解し、心理社会的側面への配慮を行い、チーム医療の一員として参加できるようになる。

2. 【行動目標:SB0s】

1 患者やその家族に対して心理的、社会的側面を配慮ができる。
2 学校・家庭・職場環境に配慮し、地域との連携に参画できる。
3 診療情報提供など、他施設への情報伝達を円滑にできる（コミュニケーション）。
4 単科病院及び診療所の役割について理解し、実践する。
5 メディカルスタッフスタッフと協力してチーム医療を実践できる。
6 精神症状のとらえ方の基本を身に付ける。
7 精神疾患に対する初期対応と治療の実際を学ぶ。
8 デイケアなどの社会復帰や地域支援体制を理解する。

3. 【方略】

	対応するSB0s
1 患者の担当医として、指導医とともに診療にあたる。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
2 患者やその家族に対して、病状の説明を指導医とともに行う。	1, 4, 5, 6, 7, 8
3 高次医療機関への紹介状を記載する。	3, 4, 6, 7
4 精神疾患に関する基本的知識を教科書にて学習する。	6, 7
5 チームカンファランスに参加する。	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8

4. 【評価】

①研修医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法	対応するSB0s
担当した患者の疾患と患者数	自己・指導医	研修修了時	チェックリスト	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
診療態度	自己・指導医・メディカルスタッフ	研修中旬 研修修了時	フィードバックシート	4, 5, 6
関連手技	自己・指導医	随時	チェックリスト 口頭でのフィードバック	5, 6, 7
日常診療での症例提示	自己・指導医・メディカルスタッフ	毎日	診療記録のチェック及び 口頭でのフィードバック	2, 3, 5, 6, 7, 8

②当該科に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの当該科への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

③指導者に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの指導医への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

5. 研修者の事前準備

プライマリ・ケア、初期救急の教科書をおさらいすること

※ 週間スケジュール、研修指導体制については、地域医療研修ガイドブックを参照

1. 【一般目標:GIO】

小児科医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、小児科医療におけるプライマリケアや地域医療としての役割を理解し、心理社会的側面への配慮を行い、チーム医療の一員として参加できるようになる。

2. 【行動目標:SB0s】

1	患者やその家族に対して心理的、社会的側面を配慮ができる。
2	学校・家庭・職場環境に配慮し、地域との連携に参画できる。
3	診療情報提供など、他施設への情報伝達を円滑にできる。
4	診療所の役割について理解し、実践する。
5	メディカルスタッフと協力してチーム医療を実践できる。
6	小児の診察ができ、カルテに適切に記載することができる。
7	予防接種を実施できる。
8	小児に用いる薬剤の知識と使用法、小児の体重別・体表面積別の薬用量の計算法を身につける。
9	母子健康手帳を理解し活用できる。

3. 【方略】

	対応するSB0s
1 指導医とともに小児科診療を行う。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9
2 患者やその家族に対して、病状の説明を指導医とともに行う。	1, 4, 5, 7, 8, 9
3 高次医療機関への紹介状を記載する。	3, 4, 6, 7
4 学校での健康教育、相談などに参加する。	1, 2, 4, 9
5 小児に用いる薬剤の知識を教科書にて学習する。	7, 8
6 予防接種を行う。	1, 2, 7, 8, 9

4. 【評価】

①研修医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法	対応するSB0s
担当した患者の疾患と患者数	自己・指導医	研修修了時	チェックリスト	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9
診療態度	自己・指導医・メディカルスタッフ	研修中旬 研修修了時	フィードバックシート	4, 5, 6
関連手技	自己・指導医	随時	チェックリスト 口頭でのフィードバック	5, 6, 7
日常診療での症例提示	自己・指導医・メディカルスタッフ	毎日	診療記録のチェック及び 口頭でのフィードバック	2, 3, 5, 6

②当該科に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの当該科への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

③指導者に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの指導者への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

5. 研修医の事前準備

プライマリ・ケア、初期救急の教科書をおさらいすること

※ 週間スケジュール、研修指導体制については、地域医療研修ガイドブックを参照

1. 【一般目標:GI0】

産婦人科医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、産婦人科医療におけるプライマリケアや地域医療としての役割を理解し、心理社会的側面への配慮を行い、チーム医療の一員として参加できるようになる。

2. 【行動目標:SB0s】

1 患者やその家族に対して心理的、社会的側面を配慮ができる。
2 学校・家庭・職場環境に配慮し、地域との連携に参画できる。
3 診療情報提供など、他施設への情報伝達を円滑にできる。
4 診療所の役割について理解し、実践する。
5 メディカルスタッフと協力してチーム医療を実践できる。
6 産婦人科診療に関する基本的知識を身につけ、診療することができる。
7 産婦人科診療に関する必要な検査、手技を経験する。
8 性感染症予防、家族計画を指導できる。
9 母子健康手帳を理解し活用できる。

3. 【方略】

	対応するSB0s
1 指導医とともに産婦人科診療を行う。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9
2 患者やその家族に対して、病状の説明を指導医とともに行う。	1, 4, 5, 8, 9
3 高次医療機関への紹介状を記載する。	3, 4, 6, 7
4 学校での健康教育、相談などに参加する。	1, 2, 4, 9
5 妊娠・授乳時に用いる薬剤の知識を教科書にて学習する。	6, 8, 9

4. 【評価】

①研修医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法	対応するSB0s
担当した患者の疾患と患者数	自己・指導医	研修修了時	チェックリスト	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9
診療態度	自己・指導医・メディカルスタッフ	研修中旬 研修修了時	フィードバックシート	4, 5, 6
関連手技	自己・指導医	随時	チェックリスト 口頭でのフィードバック	5, 6, 7
日常診療での症例提示	自己・指導医・メディカルスタッフ	毎日	診療記録のチェック及び 口頭でのフィードバック	2, 3, 5, 6

②当該科に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの当該科への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

③指導者に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの指導者への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

5. 研修医の事前準備

プライマリ・ケア、初期救急の教科書をおさらいすること

※ 週間スケジュール、研修指導体制については、地域医療研修ガイドブックを参照

1. 【一般目標:GIO】

耳鼻科医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、耳鼻科医療におけるプライマリケアや地域医療としての役割を理解し、心理社会的側面への配慮を行い、チーム医療の一員として参加できるようになる。

2. 【行動目標:SB0s】

- 1 患者やその家族に対して心理的、社会的側面を配慮ができる。
- 2 学校・家庭・職場環境に配慮し、地域との連携に参画できる。
- 3 診療情報提供など、他施設への情報伝達を円滑にできる。
- 4 診療所の役割について理解し、実践する。
- 5 メディカルスタッフと協力してチーム医療を実践できる。
- 6 耳鼻咽喉科診療に関する基本的知識を身につけ、診療することができる。
- 7 耳鼻咽喉科疾患の診断に必要な検査を選択し、適応の有無の判断力を修得する。
- 8 耳鼻咽喉科疾患に関する必要な検査、手技を経験する。
- 9 耳鼻咽喉科診療に関する、基本的な薬剤を使用の仕方を理解する。

3. 【方略】

	対応するSB0s
1 指導医とともに耳鼻咽喉科診療を行う。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9
2 患者やその家族に対して、病状の説明を指導医とともに行う。	1, 4, 5, 8, 9
3 高次医療機関への紹介状を記載する。	3, 4, 6, 7
4 耳鼻咽喉科疾患診療分野の基本的な疾患の知識を教科書にて学習する。	6, 7, 8, 9
5 耳鼻咽喉科疾患診療に関する基本的な検査・手技（ファイバースコープ検査・耳垢除去・鼻出血止血など）を行う。	6, 7, 8

4. 【評価】

①研修医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法	対応するSB0s
担当した患者の疾患と患者数	自己・指導医	研修修了時	チェックリスト	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9
診療態度	自己・指導医・メディカルスタッフ	研修中旬 研修修了時	フィードバックシート	4, 5, 6
関連手技	自己・指導医	随時	チェックリスト 口頭でのフィードバック	5, 6, 7
日常診療での症例提示	自己・指導医・メディカルスタッフ	毎日	診療記録のチェック及び 口頭でのフィードバック	2, 3, 5, 6

②当該科に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの当該科への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

③指導者に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの指導者への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

5. 研修医の事前準備

プライマリ・ケア、初期救急の教科書をおさらいすること

※ 週間スケジュール、研修指導体制については、地域医療研修ガイドブックを参照

外来研修

1. 【一般目標 (GIO)】

プライマリケア対応能力を修得するために、患者の呈する症状と身体所見、検査に基づいた鑑別診断を実践できるようになり、初期治療の基本を理解し、良好な医師患者関係が築けるようになる。

2. 【行動目標 (SB0s)】

1	患者の心理的、社会的側面を配慮できる（患者－医師関係）。
2	上級医、他科医師、看護師等へ適切なタイミングでコンサルトできる（チーム医療）。
3	入院が必要な場合、担当医師、メディカルスタッフ、担当部署へ連絡できる（チーム医療）。
4	臨床上の疑問点の解決のためにEBMの実践ができる（問題解決能力）。
5	症例提示ができる（症例提示）。
6	保健医療を理解し適切に行動できる（医療の社会性）。
7	適切な医療面接技術を用い病歴聴取、患者・家族へ説明できる（医療面接）。
8	全身にわたる身体診察を系統的に実践できる（基本的な診察法）。
9	基本的治療法の選択ができるようになる（基本的治療）。
10	適切な医療記録ができる（医療記録）。
11	経験すべき症状・病態・疾患をできるだけ多く経験する（経験目標）。
12	在宅医療が提供されている患者宅に赴き、訪問診療等を経験する（経験目標）。
13	外来研修を振り返り、次回の研修へ生かすように準備する（振り返り学習）。

3. 【方略】

	【対応するSB0s】
1 (実習) 指導医とマンツーマン外来実習 (OJT)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13
2 (講義) 4月のオリエンテーション時に外来実習説明会	1, 3, 5, 8, 9
3 (模擬実習) 4月の模擬実習	5, 7, 8
4 (講義及び模擬実習) 4月にdynamed, UPtoDATEを使用。	4
5 (講義及び実習) 4月九州厚生局による講義及び毎回の外来業務終了時病名入力。	6
6 (講義及び院外講師による研修医セミナー) 研修のためのセミナー。	8, 9
7 (実習及び講義) 診療録管理室等の専門家による講義及び実習。	10

4. 【評価】

①研修医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法	【対応するSB0s】
OJT	自己・指導医	毎回の外来業務終了時	口頭でのフィードバック 外来研修チェックリスト	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
診療態度	自己・指導医・メディカルスタッフ	研修中旬 研修修了時	口頭でのフィードバック	1, 2, 3, 7, 12
サマリー	自己・指導医	毎月	ポートフォリオによるチェック	2, 3, 4, 9, 10

②当該科に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの当該科への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

③指導医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの指導医への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

5. 【スケジュール】別紙にて連絡 年間5-10回の外来研修。担当事務より連絡あり

6. 研修医の事前準備

プライマリ・ケア、初期救急の教科書をおさらいすること。服装は白衣またはフォーマルな服。

7. 【研修指導体制】医療教育開発センター教官によるマンツーマン指導

8. 【緊急連絡先】

医療教育開発センター